

第 63 期第 1 回青年委員会議事録

1 開催日時 令和 4 年 11 月 5 日 (土) 午後 1 時から午後 5 時

2 開催場所 会議するなら (WEB 併用)

3 出席者

[青年委員長]

小林佑太朗

[副青年委員長]

島中翔

[書記長]

嶋村剣汰

[執行委員]

佐藤大悟、松本琉寿、正垣峻、西原夕夏、古川遼

[中執 (青年担当)]

村岡和弥 (中央書記次長)

4 議題

(1) 第 15 回青年総会評価反省

(2) 青年層組合員の処遇改善に関する要求書の検討 (考查管理室長会見)

(3) J C U セミナー案の検討

(4) 中等科アンケート内容の検討

(5) その他

5 議事内容

(1) 第 15 回青年総会評価反省

令和 4 年 9 月 10 日 (土) に開催した第 15 回青年委員会総会の評価反省を行った。出た意見は以下のとおり。来期の参考とすることとした。

- ・事前の段取りの説明もあり、スムーズな進行で行えたので基本的には問題なかった。
- ・オンライン参加の役員によるスローガン確認の際にオンライン参加者側が会場の拍手が聞こえなくてさみしかったとの意見があった。基本的に通信の交錯を避けるため、発言者以外はミュートにしているためである。拍手等の場合はミュートを解除するなどが必要である。

- ・議案書の内容について事前に青年層組合員に質問を受け付けたが、事前提出は無く、当日の代表者からの質問もなく、質疑応答はすぐに終了してしまった。コロナ禍なので短時間で終了することはよいことではあるが、質問が全くないというのはさみしくもある。来

期は、これまでどおり事前に青年層組合員から質問は受け付けつつ、質問がなければ出席する代表者の数名に質問を考えてもらい発言してもらうなど、何かしら質疑応答が行えるようにすることとした。

(2) 青年層組合員の処遇改善に関する要求書の検討（考查管理室長会見）

答申で挙がってきた以下の議題について検討を行った。議題趣旨については、各議題全て長く、伝えたいことがばやけるため、現状に合わせた形でコンパクトにすることとした。村岡書記次長が修正後、各青年役員に案を提示して確認することとした。

ア 「4 内示の早期化について」

(検討結果) フリートークで対応

(理 由) ①打診の段階で勤務地名をどこまで伝えられるかは税関によって異なるため、議題で要求するよりは、先ずはフリートークで状況の確認と要求が可能なのかなどを聞いてみることとした。
②内示の早期化は議題には載せている。1か月前内示も先ずはフリートークで理由があるのかなどを聞いてみることとした。

イ 「5 配転について」

(検討結果) フリートークで対応

(理 由) きめ細かな身上把握の徹底をするように既に趣旨に盛込んでいるため、フリートークで今期のアンケート結果を伝え、確実に実施するように伝えすることとした。

ウ 「8 働きやすい職場環境作りについて」

(検討結果) フリートークで対応

(理 由) 既に趣旨に配慮するように盛込んでいるため、島中副青年委員長の体験をフリートークで伝えることとした。

エ 「10 諸手当について」

(ア) 赴任旅費（移転料）

(検討結果) 引き続き議題に入れて要求

(理 由) 解決にはなっていないため。車の移送にかかる費用は、青年層組合員にとって大きな出費となり、生活必需品であるから。

(イ) 犯則取締等手当（知財）

(検討結果) 議題には入れないこととした

(理 由) 青年特有の問題ではなく、全地本が要求しているものではないため、全国的な要求となり、親の関税局長交渉でも盛り込まれるようになった際に青年も要求に加えることとした。

才 「11 週休日等における地方官署等の勤務実態について」

(検討結果) 趣旨のまた書き部分を修正

(理 由) 現状に合わせるため「水際対策の緩和・入国制限が撤廃」を盛り込む。

力 「夏季休暇の取得期間拡大について」

(検討結果) 再度議題に入れることとした

(理 由) 前期に議題として落としたが、最近の動向を鑑み、また、今期の青年委員会アンケートでも夏季休暇の取得期間拡大を望む声もあったことから。

(3) J C Uセミナー案の検討

答申で挙がってきた意見について検討を行った。検討結果は以下のとおり。検討結果を基に旅行会社にプラン案を依頼することとした。

- ・開催形式は、集合で行う。オンラインの検討は行わず、コロナ等により集合が難しくなった場合は中止する。
- ・時期は、村岡書記次長から今期の状況の説明があり、現段階では具体的な候補日は決められないが、4月5月の土日（1泊2日）に開催することとした。
- ・宿泊は、前期同様にコロナを鑑み1人1部屋とする。夕食もBBQなど外でできるもの。
- ・レク内容は、アウトドア系（グランピングやキャンプなど）で、チームで分けて交流が深められるもの。場所については、上記が行えるところを旅行会社に探してもらうが、前期同様バス移動となった場合は、感染対策を行いバス内でアイスブレーキングを行う。
- ・セミナーは、近年レク色が強いため今期は少し盛り込むこととした。村岡書記次長から東京海上日動のセミナーについて紹介があり、税関職員として関係のある、「給与明細の見方」「ねんきん定期便の見方」で進めることとした。次回の青年委員会で東京海上日動にデモをしてもらうこととした。また、上記セミナー後に組合についての説明も行うこととした。

(4) 中等科アンケート内容の検討

案を基に検討を行った結果、以下のとおり。修正して、今期の中等科研修生アンケートで配布することとした。

- ・「本所」では分からぬ研修生もいるかもしれないので、「税関研修所」に統一する。
- ・回答欄を広くとの意見があったが、ほとんどの地本がWEB回答で案内しているので影響ないと判断し、このままとした。
- ・中等科研修生アドバイスの問1は、配布している関係上、需要の把握のため必要であるため残すこととした。

(5) その他

- ・第63期第1回目の青年委員会であったことから、自己紹介を兼ねた挨拶を青年委員会メンバーで行った。
- ・村岡書記次長から、配布した年間スケジュールを基に、青年委員会の主な行事である会

見（3件）及び、JCUセミナーについて説明があった。

・青年委員会で取組む組織強化について、来年の新職加入懇親で活用できるよう、過去作成した青年委員会パンフレットをリニューアルすることとした。次回の青年委員会から少しづつ検討を進めていく。

以上